

なごや花のまちづくりネットワークだより No.16

厳しい残暑が続いておりますが、朝晩はようやく少し気温が下がり始めましたね。花壇の花もお手入れする人間もやっと一息つける季節が近づいてきました。

季節の花や緑に親しむ体験会のご案内をお届けします。今回は体験会に合わせ、公園の花ボランティアさんの活動訪問も予定しています。各公園の花ボランティアの皆さんがどんな活動をしているのかを見学できる貴重な機会です。是非ご参加ください。

① 花ボランティアさん訪問と『秋の種まき交流会』in 庄内緑地



昨年の同時期の様子

開催日	令和6年10月23日(水)
時間	10:00~11:30 10:00~10:30 ボランティア見学 10:30~11:30 種ダンゴづくり ※雨天の場合、種ダンゴづくりのみ
会場	庄内緑地グリーンプラザ 2F 講習室
参加費	無料
定員	20名 ※希望者多数の場合抽選
申込締切	令和6年10月11日(金)

秋は種まきの季節です。コスモスやバラの咲く庄内緑地で、花壇手入れなどで活躍する『花ボランティア』さんの活動を見学した後、毎年好評をいただいている秋の種ダンゴづくりの体験会を行います。作った種ダンゴは持ち帰ってご自宅で楽しめます。

② 花ボランティアさん訪問と『押し花はがきづくり』in 徳川園



昨年の同時期の様子

開催日	令和6年12月10日(火)
時間	10時00分~11時30分 10:00~10:30 ボランティア見学 10:30~11:30 押し花体験 ※雨天の場合、押し花はがきづくりのみ
会場	徳川園 葵の間 および 園地
参加費	無料(入園券つき)
定員	20名 ※希望者多数の場合抽選
申込締切	令和6年11月19日(火)

徳川園で活躍する『花ボランティア』さんの活動を見学した後、クリスマスやお正月をテーマに押し花はがきづくりを体験します。徳川園入園券をお配りするので、体験会後は紅葉が残る徳川園を自由に散策していただけます。※紅葉の時期を確約するものではありません。

★会場案内など、詳しくは「花ネット活動案内」参加募集用紙をご確認ください。



『秋の種まきをしてみよう』

9月～11月は秋まき種子の種まきシーズンです。
発芽の3条件に気をつけて種をまいてみよう。

Point!! 種の発芽の3条件

- (1) 温度
- (2) 空気 (酸素)
- (3) 水分

■温度

秋まき種子の発芽適温は多くが15℃～20℃です。
寒くなりすぎる前にまきましょう。

春まき種子	秋まき種子
<ul style="list-style-type: none"> ・夏から秋に咲く花 ・発芽適温は20℃～25℃ ・3月～6月 ・ジニア、センニチコウ、サルビアなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬から春に咲く花 ・発芽適温は15℃～20℃ ・9月～11月 ・パンジー、キンギョソウ、キンセンカなど

■空気

酸素がないと種が腐り、発芽できません。清潔で通気性が良く、適度な排水性・保水性のある種まき培養土に種をまくのがおすすめです。

■水分

発芽までは、土が完全に乾かないように管理します。細かい種の流出を防ぐため、底面から給水する方法もおすすめです。発芽がそろったら、底面給水はやめ、上からそっと水やりを行います。



ワンポイント

『光と発芽』 発芽に「光」を必要とする種があります。

好光性 (こうこうせい) 種子	嫌光性 (けんこうせい) 種子
<ul style="list-style-type: none"> ・発芽に光が必要 ・土を極薄くかぶせる (直射日光が必要な訳ではない) ・ペチュニア、ナデシコ、パンジーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・光が当たっていると発芽しない ・5mm程度土をかぶせる ・ジニア、ケイトウなど



※パンジーなどの好光性種子をまく時は土のかぶせすぎに注意

※本葉が4, 5枚に育ったらビニールポットなどに鉢上げして、つぼみがついてきたら花壇やプランターに植えつけよう

Let's try!!



～お知らせ～

この冬の「みどりの講演会」は、『世にも奇妙な植物たちの世界!!』をテーマに、食虫植物をはじめとする、おもしろい形の植物たちに関する公園を開催予定です。

詳細決定次第またお知らせいたしますので、皆さまお楽しみに!!



◆なごや花のまちづくりネットワークは名古屋緑化基金の運用益を活用して運営しています◆